

令和元年度 茨城県第4採択地区第3回教科用図書選定協議会議事録

- 1 日 時 令和元年 7 月 5 日 (金) 午前 10 時 00 分
- 2 会 場 大洗文化センター 大会議室
- 3 内 容

<事務局>

定刻となりましたので、要項に従いまして進めさせていただきますが、会に先立ちまして、本日の進め方について確認させていただきます。

はじめに、中学校用教科用図書、学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(特別支援学級用教科用図書)、小学校用 特別の教科 道徳 の審議を行います。その後、資料等の公開の対応について協議をしていただき、最後に諸連絡を行います。

それでは、「開会のことば」を 本選定協議会副会長 城里町教育委員会教育長 高岡 秀夫 様お願いいたします。

(1)開会のことば 副会長 城里町教育委員会教育長 高岡 秀夫 様

(2)教科用図書選定協議会会長あいさつ

<会長>

先般の第2回選定協議会につきましては、ご協力を賜り誠にありがとうございます。本日の第3回につきましては、お忙しい日程の中お集まりをいただきまして、ありがとうございます。

本日は、中学校用の教科用図書、小学校用 特別の教科 道徳、特別支援教育についての協議になります。また、新学習指導要領の改訂に伴いまして、中学校用の教科用図書については、令和2年度のみ使用することになり、令和2年度の採択事務により全面改訂による採択を行います。経緯と推移についてはこのようになりますが、本日の協議につきましては、よろしくお願いいたします。

<事務局>

ありがとうございました。

それでは採択についての審議・議決に移ります。

採択についての審議については、本選定協議会規約第9条によりまして、議事の進行は会長が行うこととなっております。飯島 会長、よろしくお願いいたします。

<会長>

それでは議事に入ります。議事の進め方ですが、各教科ごとに審議及び議決していきます。教科の順番は、国語、社会、数学、家庭、理科、外国語、家庭、技術、保健、音楽、美術、保健体育、

小学校用 特別の教科道徳、特別支援教育の順で行いたいと思います。

各教科の議決までの流れでございますが、最初に、調査部会からの報告をいただきまして、調査部会への質疑となります。各部長が報告をしますので、ご質問がある場合は質疑をお願いいたします。その後、部長が退席した後に、審議・議決をいただき、採択理由書の検討をしていただき進めてまいります。

それでは、はじめに国語調査部会からの報告をいただきたいと存じます。事務局は、調査報告書と国語の教科用図書の見本本の配付をお願いいたします。

調査報告書、教科用図書見本本配布

国語調査部長入室

<会長>

それでは、国語部会の報告をお願いします。

<国語調査部長>

中学校 国語・書写教科用図書における、調査部会での調査内容についてご報告いたします。

中学校国語調査部会では「中学校国語」5社、「中学校書写」5社の教科用図書について調査をし、その結果をまとめたものがお手元の資料です。

まず、「中学校 国語教科用図書」について報告させていただきます。

資料を基に各教科書の特長について、特に思考力・想像力・表現力及び言語感覚を豊かにするための配慮点を中心にご報告いたします。

まず、「東京書籍」につきましては、巻頭に学習領域の系統を示す見開きのページが示されていて、学習内容や目標がわかりやすく示されています。

また、全領域偏りなくバランスの良い構成・配列になっています。

「学習の手引き」に目標や、読み深めるための読み取りの視点、さらに、具体的な交流活動を位置付ける配慮がなされています。

また、図やグラフ、表、写真などを多く使い、教材と関連させた多面的な読みができるような配慮もされています。

次に「学校図書」につきましては、「読むこと」の教材の前に、身に付けさせたい力に注目させるコラム「発見する読み」を設けて、思考力を高める工夫がされています。「学びの窓」では、「読む前に」、「読み深める」、「まとめ」、といった学習の流れがわかりやすく提示されています。

次に「三省堂」につきましては、「読むこと」の領域の教材を多く取り上げた単元を設定しながら、小教材で全領域を扱うような構成になっています。

また、古典に関する学習単位では、歴史上の人物の和歌を紹介したコラム等を展開し、古典に対する関心・意欲を高める工夫がされています。

次に「教育出版」ですが、「読むこと」の教材の最後に設けられている「道しるべ」で「話すこと・聞くこと」

「書くこと」との関連を示し、表現へと展開させることができるよう配慮がされています。

最後に「光村図書」ですが、「読むこと」の領域を中心とした単元を設定しながら、小教材で全領域を扱う構成となっています。「話す・聞く」での交流学习での具体例なども示されています。「読書案内」のコーナーでは、様々なジャンルの本が各学年ともたくさん紹介されていて、読みの幅を広げていけるよう工夫されています。

続きまして、調査をしていく中で、話題になりました「東京書籍」について、さらに説明を付け加えさせていただきます。

言葉を通して、適切に表現し正しく理解する能力と伝え合う力を高めるために、「読むこと」の領域の教材を中心としつつも全領域がバランスよく配置されておりました。

また、学習のポイントを単元の導入時に「学びの扉」や巻末の「学びを支える言葉の力」に示すことで、基礎的な知識や技能の系統性を確かめながら繰り返して学習できるよう工夫されています。言語教材が系統的に位置付けられていて、「言葉を広げよう」では、関連することばの具体例を示すなど、語彙を広げられるような工夫が多くみられ、表現する力を身に付けることにも配慮がされています。

さらに、自主的・主体的な学習活動が展開できるよう、「てびき」に目標を示し、「読み取る」「考えを深める」において具体的な視点が示されていて、主体的に思考力を高めていけるよう工夫されているという、調査委員の中で意見が多く聞かれました。

以上、「中学校 国語教科用図書」についての調査部会からの報告とさせていただきます。

<会長>

ありがとうございます。それでは、委員の中でご質問などありましたら、お願いします。

特によろしいでしょうか。

それでは、続きまして書写について調査報告をお願いします。

<国語調査部長>

続きまして、「中学校 書写教科用図書」についてご報告いたします。

書写の教科書については、5社の教科書について調査をし、その結果をまとめたものがお手元の資料です。

それぞれ各社の教科書においては、構成や工夫等がなされていますが、その中で調査部会の中で話題になったのは、「東京書籍」の教科書でした。

本教科書は、書写で学習したことが、他の教科や日々の生活の中でどのように生きているのか、具体的に示され、目的意識をもって書こうとする態度を育てるよう工夫されています。

また、より特徴的なのは、他の4社の教科書に比べ、横幅を2センチ大きくしています。これは、学習を進めていく中で、毛筆等の手本の余白を確保しつつ、「書く時のポイント」を帯状にして示し、文字のバランスや注意点などを、よりわかりやすく視覚的に示すことで、生徒が意識しながら学習を進めていけるような工夫がなされている点です。以上、「中学校 書写教科用図書」に関する報告を終わります。

<会長>

ありがとうございました。ご質問などございましたらお願いします。

特によろしいでしょうか。それでは、短期間での調査活動ありがとうございました。

国語調査部長退室

<会長>

それでは、調査部長からの報告がございました。報告の中で話題になった教科書として、国語については「東京書籍」の教科書、書写についても「東京書籍」の教科書についての意見がございました。ご意見などございましたらお願いします。

<委員>

調査部会にて「東京書籍」の教科書が話題になったとの報告がありましたが、その意見を尊重したいと思います。

<会長>

その他ご意見などはございますか。

委員からは調査部会の意見を尊重したいとの意見がありましたが、国語と書写については「東京書籍」の教科書を採択するということでよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。それでは、採択理由書について協議をお願いします。

採択理由書(案)配付

<会長>

国語の教科書については、調査部会の報告にもありましたが、読むことの領域のバランスの良い配置や学習の「てびき」に目標を示している点、図やグラフ、表、写真などを多く使っている点をまとめております。

書写の教科書については、書く時のポイントや毛筆等の手本の余白を確保などについてまとめております。国語と書写について理由書はこちらでよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。

採択理由書については、こちらにいたします。

調査報告書, 教科用図書見本本配布

社会調査部長入室

<会長>

それでは、社会部会の報告をお願いします。

<社会調査部長>

社会科部会での調査内容について報告させていただきます。

まず始めに「地理的分野」では4社の教科書について調査をし、その結果をまとめたものがお手元にある資料です。その資料をもとに、各教書の良い点について、簡単にご報告させていただきます。

各社とも課題解決学習が主体的に進められるような構成になっています。側注に資料等を積極的に活用し、追究、調査活動をサポートする内容になっています。

また、学習の導入時に課題把握のために使用する事象提示資料が吟味されており、課題意識がしつかりもてるような配慮がなされており、学習課題が多面的・多角的に追究できるよう多種多様な資料が掲載されています。

「帝国書院」についてですが、動態地誌的な学習の充実が図れるようにするため、テーマの設定及び多面的・多角的な考察や調査活動に必要な豊富な写真、地図、統計資料等が掲載されている点に工夫が見られました。

続きまして、「東京書籍」ですが、各章の1ページ目に小学校で学習した用語等が掲載されており、小学校との学びの接続を図った構成に特色がみられました。

さらに、「地理スキルアップ」「調査の達人」のコーナーが随所に掲載されており、統計資料、雨温図や主題図等の読み取り方及び調査活動の調べ方等、生徒が基礎的・基本的な技能である読図や作図等の学習活動の充実の習得を図るための工夫が見られました。

また、「地理にアクセス」のコーナーがほとんどのページにあり、調査した内容を補説したり発展的な学習へと導いたりする資料となっていることにより学習の振り返りでは、重要語句を使った振り返りの課題を提示し、学習内容の理解深化や言語活動の充実を図った構成になっています。

以上により、生徒が興味・関心をもち、意欲的に課題解決的な学習に取り組めるよう工夫がされています。以上で、「地理的分野」の報告を終了させていただきます。

続きまして「歴史的分野」では8社の教科書について調査をし、その結果をまとめたものがお手元にあ

る資料です。その資料を基に、各教書の良い点について、簡単にご報告させていただきます。各社とも、章ごとの冒頭に見開き2ページを割いて、学習する時代の様子をイラストで紹介する「タイムトラベル」が掲載されています。

また、小学校で学習した内容を整理するとともに、その時代の歴史を大観でき、課題意識がもてるような工夫が見られます。

さらに、コラムを通して、歴史に関心をもち歴史上の人物を含めた歴史的事象を深く理解できるとともに発展的に学習ができるような配慮が見られました。

また、近現代に関する内容に多くのページをあて、世界と日本の関わりが捉えられるような構成に特色が見られました。

続きまして、調査をしていく中で、話題になった教科書について、さらに説明をさせていただきます。

「日本文教出版」についてですが、学習課題とともにポイントとなる語句を示し、言語活動コーナーにより思考、判断、表現の活動が進めやすくなるような特色がございました。

「帝国書院」についてですが、「タイムトラベル」と呼ばれる各時代の人々の生活に視点をおいた資料により、自分たちの生活を比較し学習課題を設定しやすくなっている特色がございました。

最後に「東京書籍」ですが、単元で学習したことのまとめと次単元で学習することを見開きの年表にまとめて掲載されており、歴史の流れが大観できるよう工夫がされていました。

また、年表中には小学校での学習内容も併記され、学習の接続にも配慮が見られました。

さらに、単元末での時代の特色を捉える学習では、単元ごとにイメージマップ、比較表やプレゼンテーションソフトの活用等、多様なまとめ方で構成されており、生徒の表現力、思考力を育成するための工夫が見られました。以上で、「歴史理分野」の報告を終了させていただきます。

続きまして「公民的分野」では4社の教科書について調査をし、その結果をまとめたものがお手元にある資料です。その資料をもとに、ご報告させていただきます。

各社とも、主体的な探究活動や基礎的・基本的な知識の習得に配慮された構成になっておりました。

その中で、「教育出版」では、章末等に「言葉で伝え合おう」「読んで深く考えよう」の掲載があり、表現力、思考力等を育成するために言語活動の充実に配慮した構成に特色がありました。

「帝国書院」では、政治や経済の学習を身近な題材をシリーズで取り上げ、学習意欲の喚起と学習内容の理解深化に配慮した構成になっているところに特色がありました。

「日本文教出版」では、ナビ、各章の学習、チャレンジ公民、ズームインで多面的・多角的に社会的事象を考察させ、学習内容の理解が深まるよう配慮された構成に特色がありました。

「教育出版」では、章末等に「言葉で伝え合おう」「読んで深く考えよう」の掲載があり、表現力、思考力等を育成するために言語活動の充実に配慮した構成に特色がありました。

最後に「東京書籍」ですが、毎時間ごとの学習を振り返るコーナーがあり、学習した用語を用いて、学習課題についてまとめる活動を掲載しています。それにより、基礎的・基本的な知識の習得と言語活動の充実が図られるよう配慮がなされていました。

また、学習内容の理解深化と学習活動の個別化を図るために、生徒にとって身近で関心の高いテーマを「公民にチャレンジ」に取り上げている点に工夫が見られました。

さらに、領土に関する教育の充実に関しては、「公民にアクセス」のコラムに2ページを割いて、写真、地図を交え、領土に関する歴史的経緯、関係国との現状を詳細に掲載する構成になっておりました。

また、「公民にアクセス」のコラムが充実しており、多くのページを割いて、学習内容の補説及び発展的な教材を取り上げ等の配慮がなされているなどの優れた特色がありました。以上で、「公民的分野」の報告を終了させていただきます。

続きまして「地図」では2社の教科書について調査をし、その結果をまとめたものがお手元にある資料です。その資料を基に、2社の地図の良い点について、ご報告させていただきます。

「東京書籍」ですが、地図の活用の技能を高めるため、「吹き出し」「ジャンプ」の項目を参考に、地図から必要な情報を読み取る技能が身につくよう工夫されていました。

一般図では土地の高低が細かく色分けされていたり、淡い色使いによって文字情報が見やすくなっていたりと、工夫されていました。

「帝国書院」ですが、一般図の後に、様々な主題図を掲載する構成になっています。課題解決学習を進める上で、写真やイラストなど多種多様な資料が掲載されており、地理的認識や地域的特色を理解する上での配慮がなされていました。

また、「地図を見る目」を表示し、読図のポイントを文章で示し、基礎的な知識が習得できるような配慮がされていました。

また、「やってみよう」のコーナーでは、操作活動を通して読図や作図の技能が習得できるよう配慮がされています。

日本の領土については、地方ごとに掲載した一般図の中に写真や解説とともに掲載されていました。北方領土については、年代ごとの国境の変遷が掲載されているとともに、同縮尺の沖縄本島を併記して、大きさや位置関係を捉えさせる工夫が見られました。以上で、地図の報告を終了させていただきます。

<会長>

ありがとうございます。

地理、歴史、公民、地図の調査報告をしていただきましたが、調査報告についてご質問があればお願いします。

<委員>

様々な特色をご報告していただきましたが、調査部会としてはどのような意見が多くありましたか。

<社会調査部長>

地理、歴史、公民が「東京書籍」で、様々な要素が盛り込まれており、完成度の高さや使いやすさの点で話題になりました。

地図に関しては、「帝国書院」が情報量や沖縄や地域との位置関係などがきちんとされており調査部会では話題になりました。

<会長>

その他はいかがでしょう。よろしいでしょうか。

それでは、調査活動ありがとうございました。

社会調査部長退室

<会長>

調査部長から調査報告をしていただきました。委員の中でご意見があればお願いします。

<委員>

なし

<会長>

調査部会からは、地理、歴史、公民については、完成度の高さや使いやすさの点で「東京書籍」の教科用図書を採択、地図については、地域との位置関係などがきちんと記載されている「帝国書院」を採択ということでよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

それでは、地理、歴史、公民について「東京書籍」の教科書を採択し、地図については、「帝国書院」の教科書を採択いたします。

続いて、採択理由書について協議をお願いします。

採択理由書(案)配付

<会長>

地理、歴史、公民、地図の採択理由書が配布されましたが、採択理由としては先程の調査報告にもあったように、編成の方向性や資料の充実などが記載されております。理由書については、こちらでよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。

調査報告書, 教科用図書見本本配布

数学調査部長入室

<会長>

それでは, 数学部会の調査報告をお願いします。

<数学調査部長>

各社とも特色がありますが, 特に導入時の課題提示などについては力を入れていることがよくわかりました。

その中でも, 調査部会で話題になった「大日本図書」について詳しくご説明いたします。

「大日本図書」は7社の中で最もページ数が多く, 練習問題や確認問題, 巻末の「まとめの問題」などが充実しています。特にページ数が多いのは, 章末に学習した内容と関連する「社会にリンク」, 巻末に豊かな数学の生活を知る「マスフル」があり, 他の教科書よりも充実した内容が取り入れられており, 数学の「必要性」や「有用性」を容易に理解できるという特色があります。

一例を申し上げますと, 「社会にリンク」では, 1年生「数学も大工の道具の一つ」というコーナーが設けられており, 読み資料になっております。社会で活躍する方がいかに数学を大切に使っているかなどが書かれています。

マスフルでは, 2年生「すぐに測れる体温計」が掲載されております。正確には10分間かかるところを30秒で予測して計測しています。それは, 指数関数を使用しますが, そういったところまで掲載されており, 非常に興味深い内容となっております。

次に, 基礎・基本の定着のために, 黒板のイラスト内に解答例がわかりやすく示されています。節の終わりには, 難易度別の練習が用意されており, 繰り返し学習を確実に定着させることができます。

さらに, 問題毎に「戻るページ」が示されており, すぐに既習内容を確認することができ, 数学が苦手な生徒への配慮がなされています。

また, 節の途中には「思い出そう」というコーナーが用意されています。これは, 目の前の教科書にはない昨年度までに学習した内容が端的に示されており, 学習者にとっても指導者にとっても, 系統性を把握する大きな手助けとなっています。第1学年だと「小学校で学んだ〇〇」, 第2学年「小学校から中学1年」第3学年「小学校から2年」までの内容やヒントが書かれています。他の教科書にも掲載されておりますが, 非常によくまとめられているのが大日本図書だと感じました。

最後になりますが, 教科書にはレポート例が掲載されており, レポートを書くことへの内容が最も充実していると考えられます。自宅から学校までの距離から, 円周率を使って自転車のペダルをこぐ回数を導き出したり, 平均の考えを使って生涯に渡って使用する水の量を計算するなど, 子供たちの自由な発想で, 身の回りの数学的事象を考察し, 数学的に解決することに意欲的に取り組むことを可能としていま

す。「レポートを書こう」の一例ですが、第3学年「校舎の模型を作る」が掲載されており、縮尺、平面図、立体まで発展させるといった内容が掲載されております。以上で中学校数学の調査部会の報告を終わります。

<会長>

ありがとうございます。それでは、調査部会の質問などありましたらお願いします。特によろしいでしょうか。それでは、調査活動ありがとうございました。

数学調査部長退室

<会長>

それでは、数学についてご意見などあればお願いします。

調査部会の報告では、「大日本図書」について詳しく報告をしていただきました。

<委員>

なし

数学については、調査部会から詳しく報告していただいた、「大日本図書」の教科書を採択することによろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。それでは、採択理由書について協議をお願いします。

採択理由書(案)配付

<会長>

先程の調査部長からの報告にあったような特色や内容を記載しております。

こちらの理由書でよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

ありがとうございます。

理科調査部長入室

それでは、理科部会の調査報告をお願いします。

単元の構成では、既習事項や身近な現象の写真を使い、課題を具体的にイメージする場面を設定し、科学的に探究する能力が育つように工夫されています。

レッツトライ,チャレンジ,話し合ってみようといったコーナーを設け,発展的な観察や実験など学んだことを活かした物作りに取り組める構成にもなっており,科学的な見方を広められるよう工夫されています。

次に「教育出版」の教科書についてですが,導入の写真やキャラクターのコメントで学習への課題意識を持たせる工夫が見られます。

また,コラムでは科学の話題が多数紹介されており,生徒の学習意欲が喚起されるよう配慮がされています。

観察実験では,実験課題,方法,結果,考察が簡潔な流れでまとめられており,見やすく思考がつながりやすい構成になっております。ハローサイエンスや,活用しようのコーナーを設け,最新の科学的舞台を提供したり,発展的な実験を行い自分の考えを説明したりする活動を取り入れ,科学的な思考力や表現力を育てよう配慮がされています。

最後に「啓林館」の教科書についてですが,分かりやすい図や迫力のある写真が効果的に使用され,生徒が興味を持てるよう工夫されています。

単元の構成では,小学校からの既習事項を示したり,身近な写真や図を示すことで,見通しをもち予想を立てやすい構成になっております。

観察実験では,課題の把握から考察までのそれぞれにポイントを示し,分かりやすい丁寧な作りになっています。

以上がそれぞれの良さや特色についての報告となりますが,調査部会の調査過程において話題になった教科書についてご報告いたします。見やすく,生徒が興味関心を高め,基礎基本の習得や,発展的な学習を図れる教科用図書として,「大日本図書の新版 理科の世界」が優れているのではないかとといった意見がありました。以上で調査結果の報告を終わりにいたします。

<会長>

ありがとうございました。ただいま,調査部会からの報告がありましたが,ご質問などありましたらお願いします。特によろしいでしょうか。それでは,調査活動ありがとうございました。

理科調査部長退室

<会長>

ただいま5社についての調査報告をしていただきましたが,最後に調査部会からの意向についての報告もありました。委員の中でご意見などありましたらお願いします。

<委員>

なし

<会長>

それでは,調査部会からの報告もありましたが,見やすく,生徒が興味関心を高め,基礎基本の習得や,

発展的な学習を図ることができるとして「大日本図書」の教科書を採択するということによろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。それでは、採択理由書について協議をお願いします。

採択理由書(案)配付

<会長>

先程の調査部会から大日本図書の特色についてご報告いただきましたが、それらも記載されております。こちらの採択理由書でよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。

調査報告書, 教科用図書見本本配布

保健体育調査部長入室

<会長>

それでは、保健体育部会の調査報告をお願いします。

<保健体育調査部長>

中学校保健体育部会での調査内容について報告させていただきます。

保健体育部会では、「東京書籍」、「大日本図書」、「大修館」、「学研」の4つの教科用図書について調査しました。その結果、各教科書の特徴について簡単にご報告させていただきます。

最初に「東京書籍」です。この教科書は、身に付けた知識を活用するために「考えてみよう」が設けられており、一人一人が主体的に取り組むことで判断力や思考力が身に付くように配慮がされています。

また、生徒たちが学習内容の理解を深めるための資料を随所に掲載されているところも特徴の1つとなっています。

次に「大日本図書」です。この教科書は、科学的なデータや図等が資料として豊富に使われています。

また、重要語句の説明は本文中で示し、発達段階に応じて学習を深めるための内容を様々な資料コ

一ナーで取り扱うなどの工夫がみられます。

続いて「大修館」です。この教科書は、単元の冒頭に単元全体の学習の見通しが持てるように工夫がされています。

また、単元の終わりには「学んだことを振り返ってみよう」「学びを生かそう」「学びを広げよう」のページが設定され、学習内容の定着や発展的な学習につながる工夫が施されています。

最後に「学研」です。この教科書は、各章のタイトル・学習の目標・キーワードが一目でわかるように連動して示されており、学習の見通しを持つことができるようになっています。

また、教科書の構成と学習の流れが示され、各章を通じて見通しを持って学習を進めることができる内容となっています。

1時間の学習の流れが図で示され、課題解決や目標達成に向けた「学習方法」が多数紹介されており、主体的に学習を進めるうえでの手助けとなっています。

また、身に付けた知識を活用する「実習」「探究」「発展」のコーナーが設定されており、生徒の興味や実態に応じた課題解決的な学習にも対応した内容となっています。

最後に調査活動の中で、学研の教科書についての意見が多くあったことも併せて報告いたします。

以上で報告を終了させていただきます。

<会長>

ありがとうございました。ただいま、4社について調査報告をしていただきましたが、ご質問などありましたらお願いします。特によろしいでしょうか。

それでは、調査活動ありがとうございました。

保健体育調査部長退室

<会長>

調査報告をしていただきましたが、委員の中でご意見などありましたらお願いします。

<委員>

なし

それでは、調査部会からの報告の中で、多くの意見があった「学研」の教科書を採択するということでよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。それでは、採択理由書について協議をお願いします。

採択理由書(案)配付

<会長>

先程の調査部会からの報告にもございましたが、学習の流れや、構成についての特徴などについて記載されております。こちらの採択理由書でよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。それでは、午前の部を終了いたします。

調査報告書, 教科用図書見本本配布

家庭調査部長入室

<会長>

午後の部を再開いたします。

それでは、家庭部会の調査報告をお願いいたします。

<家庭調査部長>

各教科書の特徴について報告いたします。

「新しい技術・家庭 家庭分野(東京書籍)」の主な特色についてですが、1の項目における特色ですが、各題材ともに基礎を押さえながら応用へ発展できるよう、応用・発展的な内容を段階的に組み込むことによって、知識及び技能が確実に習得できるよう配慮がされています。

各内容ともに、生活をよりよくしていくための資料や実習事例が数多く取り上げられており、既習事項を振り返りながら主体的に考え行動できるよう配慮がされていました。

2の項目についての特色ですが、「基礎・基本の定着のための工夫」に衣食住の分野で、基礎技能の資料が一目でわかるように構成されており、大変わかりやすいと感じました。「個に応じた指導のための工夫」としましては、課題解決学習の進め方がわかりやすく示されており、興味関心に応じて実践例をもとに学習できるよう配慮がされていました。

3の項目「構成・配列・分量」についての2つの観点においての特色ですが、学習指導要領とは違い、教科書の配列は指導の流れを考慮したB→A→Cの順となっています。また、内容ABCDを1234と表記を変え、新しい学習指導要領への配慮が見られました。

各題材の学習目標、学習のまとめが各編ごとに記載されているため、学習のポイントが確認できるよう配慮がされていました。

4の項目「標記・表現」についての特色ですが、1から4編の見出しが色分けされており、一見して教科書が開けるよう工夫されていました。全体を通してカラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮している点も大きな特色となっています。

5の項目では、項目ごとに文字の大きさや太さ、配色等を変えており、行間も確保されているため大変見やすいです。

次に「開隆堂」の主な特色についてご報告いたします。

1の項目における特色ですが、衣食住に関する実習・実験や調べ学習、幼児とのふれあい体験の実習例を複数取り上げ、実生活に活かしやすい内容になっております。

各内容ごとの学習のまとめで学習を振り返り、生活に活かす視点を示すことで、主体的に考え行動することができるよう配慮がみられました。

2の項目についての特色ですが、「基礎・基本の定着のための工夫」に「point」のコーナーで調理に関する情報が記載されており、基礎基本を身に付ける工夫が見られます。

また、衣生活では小学校での既習事項を対比させながら、中学校での基礎基本が学習できるよう工夫されています。

3の項目においての特色ですが、学習に関連した便利な情報を「豆知識」として記載し、知識量を増やす工夫が見られました。

4の項目「標記・表現」についての特色ですが、原寸大の写真や、多様なマークの使用、吹き出しによる問題提起や学習内容の確認など、興味関心を持って学習に取り組めるような工夫が見られました。

続いて教育図書の教科書の主な特色についてですが、1の項目における特色を報告いたします。

ロールプレイングの資料や幼児とのふれあい体験の手順を詳しく示すことで、活動の見通しをもって家族との関わりを理解できるよう工夫されていました。各内容とも、実習や発展、生活の課題と実践の中で生活をよりよくするための具体例を取り上げ、主体的に考え行動できるように配慮がされています。

2の項目についての特色ですが、小題材ごとの「キーワードチェック」で家庭科用語の確認を行い、基礎的・基本的な知識及び技能の習得が図れるよう工夫されています。

3の項目においての特色ですが、各章の最初の「自立度チェック」、各内容の最後の確認問題の記載等、導入や確認の工夫が見られました。

4の項目「標記・表現」についての特色ですが、写真やイラスト、資料を多く活用し、手順がわかりやすく示されています。また、実習・発展マークで実習への意欲付けが工夫されています。

以上、3社の特徴についてご説明いたしました。それぞれに工夫や配慮がありましたが、現場の先生方からは現行の教科書が使いやすいとの声が多かったことを申し添えます。

<会長>

ありがとうございました。ただいま調査報告をしていただきましたが、ご質問などありましたらお願いします。特によろしいでしょうか。

それでは,調査活動ありがとうございました。

家庭調査部長退室

<会長>

ただいま,3社の調査報告をしていただいた中で,調査部会としては現在使用している「東京書籍」が大変使いやすいといった報告もありました。委員の中でご意見などはありますか。

<委員>

なし

それでは,よろしいでしょうか。調査部会の報告にもありましたが,「東京書籍」の教科書を採択するという
ことでよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。それでは,採択理由書について協議をお願いします。

採択理由書(案)配付

<会長>

先程の調査部会からの報告にもございましたが,基礎基本から応用発展に繋がるような構成になっている点や,写真が豊富といった点も記載されております。採択理由書についてはこちらでよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。家庭については,東京書籍の教科書を採択いたします。

調査報告書,教科用図書見本本配布

外国語調査部長入室

<会長>

それでは、外国語部会の調査報告をお願いいたします。

<外国語調査部長>

今回の教科書調査分析に当たって、6社ございました。定められている調査項目を総監しますと「英文内容・英語指導のための材料・体裁等」となりますが、最もその差の大きい部分は「指導のための材料等」に係る部分です。

調査部会のお話になった「東京書籍の New Horizon」と「開隆堂の Sunshine」についてご説明いたします。

New Horizon1の22頁と Sunshine2の24頁をお開きください。同じ1年生の最初の学習であります。I am (私は)と名前を自己紹介する言い方の学習です。

「指導のための材料」配置の違いの一つに、学習者に「学び、身に付ける内容」をどのように示すかということがあります。

左上の冒頭部分の目標の示し方に、編集方針の差があります。本課全体の目標を掲載する New Horizon と各ページの目標をその都度示す Sunshine です。学習者がより広い範囲で、「身に付けるべきこと」を掲載することが目指され、自分で「どんなことが表現できるようになったか」を捉え、指導者も評価することが文部科学省が進めます CAN-DO リストの考え方です。そのページでできたときに評価されるのではなく、一定の言語活動中に用いることができたかどうか言語指導における達成の評価となります。

New Horizon が適した評価方法を生徒と教員に示しています。「分かった、できた」とテストでできても運用できないという事実を直視して改善していくことが理解されています。

ページの冒頭に目標文があり、教員が運用練習をさせることが当たり前として左ページに練習がある Sunshine と、英文を聞いて内容を推測して、新しい言い方を身に付けることが必然として生徒に分かるように、課の本文が左ページにある Horizon と大きな違いがあります。

見開きでの印象としても分かりやすいのですが、Sunshine は中学1年生の最初の課として情報が多くて、小学校では基本的に扱わない英語の文字が多い印象です。

小学校の外国語活動とは、習った英語を書くことも学習しますが、発話される英語を聞いて、自分も同じように発話してみる活動やコミュニケーション能力を身に付け、対話する活動や学習をおおもとに据えています。

まず、中学校では文字の口頭表現を身に付けるための記憶の手段として始め、徐々に聞いてメモを取ったり、文章を書いて相手に伝えたりするなどの言語活動に進んでいきます。小学校でも外国語活動に苦手意識が生じ始めている昨今、最初から「難しい。教科書のすべてを理解できないかもしれない。」と思わせたくはありません。3年間での総頁数343と339と大きな差はないのですが、Horizon での131頁以降、Sunshine の125頁以降の付録部分に扱うことを余儀なくされる表現リストなどが、本課の込み入った印象と同様にあります。

「英文内容」についてお話いたします。どの教科書もその内容上の工夫がありますが、「環境」についての扱いが本地域の生徒にどのように関連するかがポイントになりました。

いかに、生徒の身近な関わりで学ぶかという点で、Horizon1の50頁の食べ残しへの言及は、従来のビンや古紙をリサイクルするという内容より印象的でした。Horizon3の26頁の内容でも「この教室の空気はブラジル、アマゾンから来ているかもしれない。」という文も生徒の認識力との関係で効果的であろうとの声がありました。

「表記」についての分析では、概ね第1学年では活字が手書きのような文字を使い、高学年や読取題材では明朝体系の活字が用いられており、判読、視写に適していると言えます。

各社における同様の部分での課題としては、色が多用される中、デザイナーが描くキャラクターには色弱者への配慮が明確であります。編集部が強調するために英文に色をかける場合に、赤系と緑系の明度が近くて、違いの判別できにくい部分があるとのことでした。全社に機会があれば改善を求めたいところです。

調査部会では、2社の教科書が話題になりましたが、調査部会の意見として多かったのは東京書籍でしたことも併せて報告いたします。以上でございます。

<会長>

ありがとうございました。ただいま、調査部会からの報告がありましたが、ご質問がありましたらお願いします。特によろしいでしょうか。

それでは、調査活動ありがとうございました。

外国語調査部長退室

<会長>

調査部会の報告として、6社の中から「東京書籍」と「開隆堂」について詳しく報告をしていただきました。

特色を報告していただく中で、調査部会としては、現在使用している「東京書籍」が相応しいのではないかといった報告もありました。委員の中でご意見などありましたら、お願いします。

<委員>

なし

<会長>

特によろしいでしょうか。それでは、調査部会の報告にもありましたが、「東京書籍」の教科書を採択することによってよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。それでは、採択理由書について協議をお願いします。

採択理由書(案)配付

<会長>

調査部会からの報告の中で、「東京書籍」の工夫されている点として5つの項目について記載されています。こちらの採択理由書でよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。外国語については、「東京書籍」の教科書を採択といたします。

調査報告書,教科用図書見本本配布

技術調査部長入室

<会長>

それでは、技術部会の調査報告をお願いいたします。

<技術調査部長>

私からは、中学校技術・家庭の「技術分野」について調査部会の調査結果についてご報告いたします。

調査したのは、「東京書籍」、「教育図書」、「開隆堂」の3社の教科用図書です。

それでは、それぞれの教科用図書の優れた点を、調査資料を基にご報告いたします。表に記載順、左からご覧ください。

まず、「東京書籍」の教科用図書ですが、この教科用図書のみ、版のサイズがAB版で横幅が広くなっており、ページに余裕があります。

優れた点としては、身に付けさせたい基礎的な知識技能について分かりやすくまとめられています。どの内容項目でも学習の流れを統一的に示すことで、生徒が見通しをもちながら学習に取り組めるような工夫をし、主体的な学習ができるように配慮がされています。

また、「リンク」や「他教科」「小学校」等のマークを用い、既習事項や他教科、今後の学習を関連付けて考えることができるよう配慮がされています。

そして、内容項目ごとにチェックが入れられる目標を明示し、目当てをもって学習できるように工夫されています。

技術を評価するための資料やワークシートを掲載し、生徒が技術を適切に評価するための視点を身に付けられるよう配慮がされています。

体裁としては、写真やイラスト、文字の大きさ・太さ・色を工夫して見やすいように配慮がされています。

次に、「教育図書」の教科用図書は、具体的な加工法を図や写真を整理して大きく掲載し、生徒が基礎的・基本的な知識及び技術を習得しやすいよう配慮がされています。

「基礎技能・知識」のコーナーを示し、確認できるような配慮がされています。作業時の「注意」や「コツ」を取り入れ、具体的な技能を習得できるようにも配慮がされています。

また、実習過程を細かく示し、生徒が実習例の写真や図を参考にしながら活動に取り組めるような工夫が見られます。

「調べよう」「やってみよう」「考えよう」のコーナーを設けて、生徒が主体的に取り組めるような工夫も見られます。

題材例を多く取り上げたり、材料に応じた製作課題を取り上げたりすることを通して、生徒が実践的・体験的に基礎的・基本的な知識及び技術を習得できるような工夫が見られます。

体裁では、重要語句は太字で表示し、紙面には適度な余白を取り入れ、写真やイラストが見やすくなるよう配慮がされています。

最後、「開隆堂」の教科用図書については、ものづくりの過程について写真やイラスト等で示し、生徒が学習の見通しをもちながら学習に取り組めるような工夫が見られます。学習の目標が明示されるとともに、「豆知識」が各ページに掲載され、興味・関心を高める工夫が見られます。

また、「リンク」を設定し、他の学習内容や家庭分野、他教科の内容との関連付けを図る工夫が見られます。

生徒の関心を高める実習を通して、基礎的・基本的な知識及び技術を習得できるような工夫が見られます。

そして、作業時の手元の写真を多く取り入れ、生徒の目線で実習・実験などができるような工夫が見られます。

体裁では、重要語句は太字で表示し、カラーバリアフリーデザインを採用して、写真やイラストが見やすくなるよう配慮がされています。

以上、三者三様の良さがありますが、調査部会の調査の過程では、見やすく、生徒が興味関心を高め、基礎基本の定着が図られる教科用図書として、「東京書籍」のものが優れているのではないかと意見が聞かれたので、併せてご報告いたします。

以上で、調査結果の報告を終わります。よろしくお願いいたします。

<会長>

ありがとうございました。ただいま、調査部会からの報告がありましたが、ご質問がありましたらお願いします。特によろしいでしょうか。

それでは、調査報告ありがとうございました。

技術調査部長退室

<会長>

調査部会の報告として、「東京書籍」、「教育図書」、「開隆堂」の3社の特色や工夫について調査報告をしていただきました。調査部会の調査の過程では、見やすく、生徒が興味関心を高め、基礎基本の定着が図られる教科用図書として、「東京書籍」のものが優れているのではないかと意見がありました。委員の中でご意見などありましたら、お願いします。

<委員>

なし

<会長>

特によろしいでしょうか。それでは、調査部会の報告にもありましたが、「東京書籍」の教科書を採択するということによろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。それでは、採択理由書について協議をお願いします。

採択理由書(案)配付

<会長>

調査部会からの報告にもあった「東京書籍」の特色などを記載しております。こちらの採択理由書でよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。技術については、「東京書籍」の教科書を採択いたします。

調査報告書,教科用図書見本本配布

音楽調査部長入室

<会長>

それでは、音楽部会の調査報告をお願いいたします。

<音楽調査部長>

中学校音楽部会での調査内容について報告させていただきます。

音楽部会では、「教育芸術社」、「教育出版」の2社の教科用図書について調査しました。その結果をまとめたものがお手元の資料になります。

この資料を基に、各教科書の特徴について、簡単にご説明させていただきます。

最初に一般の教科書についてご報告させていただきます。

まず、「教育芸術社」の教科書「中学生の音楽」についてご報告いたします。この教科書は、各頁に学習のねらいや学習する音楽の諸要素がよく目立つように表示されており、それぞれの楽曲を通して生徒が何を学ぶかを意識しやすいように配慮がされています。

また、多くの楽曲でピアノ伴奏譜が掲載されており、生徒が自分たちで伴奏しながら合唱や重唱の練習をし、それを発表することを想定して編集されているところが特徴となっています。

それに対して、「教育出版」の教科書「音楽のおくりもの」は、作詞者や作曲者からのメッセージや、楽曲についての詳しい解説などの参考資料が数多く掲載されており、音楽を学ぶための参考書とも言える内容となっております。

また、巻末の楽典のページとリンクして基礎的な音楽用語を確認しながら学習に取り組めるようになっており、生徒が多くのことを学べるように編集されているところが特徴となっています。

次に、器楽の教科書についてご報告させていただきます。

「教育芸術社」の教科書「中学生の器楽」は、段階的に無理のない教材が配列され、身に付けさせたい技能に応じて適切な楽曲を配置し、基礎的な技能の習得を図れるように配慮がされています。

また、2人以上で演奏できる楽曲を多く掲載し、ペアやグループで練習しながら学ぶ場面を想定して編集されているところが特徴となっています。

「教育出版」の教科書「音楽のおくりもの」は、難易度の高い楽曲が多く掲載されており、技能を有する生徒が意欲をもって学習できるように配慮がされています。技能習得のための様々な方法や説明が細かく示されており、一人でも自らの技能を高めていくことができるように編集されているところが特徴となっています。

これらの調査結果から、「教育芸術社」の教科書は一般・器楽とも「生徒同士が関わり合いながら学ぶ学習に適している」という点で優れております。

また、これまで使い慣れた教科書であることから、教師側の指導方法が確立されており、教育効果を高めるといっても使いやすいものとなっております。以上で調査内容についての報告を終了させていただきます。

<会長>

ありがとうございます。「教育芸術社」、「教育出版」の2社についての、調査報告をしていただきました。

ご質問などありましたらお願いします。

<委員>

調査部会の中では、どちらの教科書が使いやすいなどの意見がありましたか。

<音楽調査部長>

今まで使ってきていることもあり、「教育芸術社」の教科書が使いやすいといった意見がありました。

また、器楽についてですが、練習の過程の中で、個人での練習よりは複数での練習や話し合いをしながら進められることも優れているとの意見がありました。

<会長>

その他ご質問などありますか。特によろしいでしょうか。

それでは、調査活動ありがとうございました。

「音楽」調査部長退室

<会長>

調査部会からの報告をしていただきましたが、ご意見などありましたらお願いします。

特によろしいでしょうか。

<委員>

なし

<会長>

それでは、調査部会からの意見もありましたが、「教育芸術社」の教科書を採択するということでよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。それでは、採択理由書について協議をお願いします。

採択理由書(案)配付

<会長>

一般については8点,器楽については4点を特色として記載されております。こちらの理由書でよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。音楽については,「教育芸術社」の教科書を採択いたします。

調査報告書,教科用図書見本本配布

美術調査部長入室

<会長>

それでは,美術部会の調査報告をお願いいたします。

<美術調査部長>

美術調査部会での調査内容についてご報告いたします。

中学校における美術指導者は,美術という学習を通して,生徒にどんな見方・感じ方・表現力を身に付けさせるかということを強く意識して,3年間を見通した年間計画を策定していかなければなりません。

本来,美術は様々な領域や教科等と関連・調和する教科です。指導者は,美しさの探究について,表現だけではなく行動・思考にまで影響を与え,文化を形づくるうえで重要なことであるという気概をもって日々指導に当たりたいものです。そのよりどころとなる教科用図書は,非常に重要なものであると考えます。

美術調査部会では,調査報告書の通り「開隆堂」,「光村」,「日文」の3社の教科書について調査しました。

最初に,調査報告書を元に,各社教科用図書の比較結果について簡単に説明いたします。調査項目が1から5までありますが,ここでは,5の「体裁・使用上の便宜」について説明します。

「開隆堂」,「光村」はともに,2,3年を1冊にしており,「日文」は2,3年を2冊上下に分冊しています。2年間を通して学習を積み上げるという考え方と,それぞれの学年を新たにスタートさせたいという考え方の違いが明確に表れているといえます。どちらがよいか優劣を付けるのではなく,それぞれに良さがあると考えます。

もう一つは,印刷における図版の発色についてです。3社の教科書を比較すると,紙の色や艶によって,あるいはインクの調整の仕方によって発色の違いがあることにお気づきかと思います。わかりやすいのが,各社ともに1年生教科書の巻末部分にある「色相環」の図版です。発色の鮮やかさと色味の差が明確なのが,「日文」であると考えます。発色と色味は,美術の学習では非常に重要な要素となります。

その他の項目については、調査報告書を見ていただき、詳しく説明することは省略させていただきたいと思います。

最後になりますが、調査部会では、調査研究をしていく中で、日文の教科書が優れているのではないかといい意見が多く出ましたので、併せてご報告いたします。

それでは、この後は「日文」の「採択理由書(案)」から説明いたします。

<会長>

ありがとうございます。3社について、調査報告をしていただきました。ご質問などあればお願いします。

特によろしいでしょうか。

それでは、調査活動ありがとうございました。

美術調査部長退室

<会長>

調査部会からの報告をしていただきましたが、ご意見などありましたらお願いします。

特によろしいでしょうか。

<委員>

なし

<会長>

それでは、調査部会からの意見もありましたが、「日本文教出版」の教科書を採択するということによろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。それでは、採択理由書について協議をお願いします。

採択理由書(案)配付

<会長>

調査報告を基に3点について記載されております。こちらの採択理由書でよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。美術については、「日本文教出版」の教科書を採択いたします。

調査報告書, 教科用図書見本本配布

道徳調査部長入室

<会長>

それでは、道徳部会の調査報告をお願いいたします。

<道徳調査部長>

小学校道徳部会では、発行されている8つの出版会社の教科書について、詳細にわたって比較、検討をいたしました。その調査内容について、調査報告書をもとにご説明いたします。

第1項目の1道徳的諸価値について理解するために、どのような配慮がされているかでは、各出版会社とも、自分の生き方について経験や体験をもとにして主体的に深く考える教材や多様な課題に応じる教材、他者とのよりよい人間関係を築く大切さを扱う教材を通して、道徳的諸価値を理解するように配慮がされていました。

第1項目の2自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めるために、どのように配慮がされているかでは、各出版会社とも、自分の経験や体験を振り返ったり、見つめたりすることで課題を見つけ、自分のこととして考える教材や多様な視点や立場から考える教材を通して、自己の生き方についての考えが深められるよう配慮がされていました。

第1項目の3道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるために、どのように配慮がされているかでは、各出版会社とも、問題意識をもつことができる、主体的に考えを引き出す教材や日常生活に生かせるような教材を通して、道徳的実践意欲が育てられるよう配慮がされていました。

第2項目の1基礎・基本の定着のための工夫、内容項目の4つの視点「A 自分自身に関すること」、「B 人との関わり」、「C 集団や社会との関わり」、「D 生命や自然、崇高なものとの関わり」を通して、道徳性を養うために、どのような工夫が見られるかでは、各出版会社とも、現代的・社会的課題であるいじめ問題をユニット形式や特設ページにより重点的に取り上げていました。

また、出版会社によってスキル学習を使った教材や情報モラルに関する教材を取り扱うなど、道徳性を養う工夫が見られました。

第2項目の2、関心意欲を高め・主体的な学習活動を促すための工夫、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等、多様な指導を進めるために、どのような工夫が見られるかでは、問題を考え深めるための手引き等を用いて道筋を示したり、役割演技やソーシャルスキルトレーニング等の体験活動を取り入れたりするなど、出版会社ごとに多様な指導を進めるための工夫が見られました。

第2項目の3,個に応じた指導のための工夫,考えを深め,判断し,表現する力などを育むことができるようにするために,どのような工夫が見られるかでは,出版会社ごとに,話し合いや討論・関連読書の紹介などの言語活動や体験的な活動につながる手引きが示されていました。

また,課題解決を促す活動を別冊にしたり,自分の考えを振り返って書くことができるよう道徳ノートを用意したりするなど,主体的に考えるための工夫が見られました。

第3項目の1,内容項目や発達の段階からみて,教材の構成,配列や内容の系統性については,どのような特色があるかでは,まず,目次については,学習内容や4つの視点が分かるようにマークをつけたり,番号を色別表記したりするなど,出版会社ごとの特色が見られました。内容項目一覧表についても,内容項目ごと,または,4つの視点で分けて色別表記したり,教材の系統性や内容項目を概観する記述を図に表したりするなど,出版会社ごとの特色が見られました。

第3項目の2,内容の配列・分量には,どのような特色があるかでは,各出版会社とも,各学年の内容項目がバランスよく配置され,「生命の尊さ」や重点化した内容項目については,複数の教材を配しているところに各社の特色が見られました。

第4項目,学年の発達の段階に即した文や文章の長さ,段落,文体,挿絵,写真,さらに図・表等の表記,表現について,どのような工夫が見られるかでは,各出版会社とも,読みやすいように行間の幅を広げたり,文節で改行したり,当該学年以上で学習する漢字にはふりがなをつけたりするなどの工夫が見られました。

また,挿絵や写真・図等においては,ユニバーサルの観点から配色や大きさを配慮するなどの視覚的に捉えやすい工夫が見られました。

第5項目,印刷,製本,紙質,文字の大きさ,使用上の便宜上等について,どのように配慮がされているかでは,教科書の大きさにおいて,B5判,AB判,A4変型判,A4判と違いがありますが,出版会社ごとにそれぞれの大きさの特長を活かすよう紙面構成等に工夫が見られました。それ以外では,各出版会社とも,再生紙や植物インキを使用するなどの環境問題への配慮がされていました。

各出版会社とも,それぞれに工夫・改善を凝らしておりました。学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の配置等については,大きな違いはないと感じました。

また,別冊の有無,表記や体裁使用上の便宜等においては,出版会社ごとの特色がありました。調査した10の項目を包括して考えると各出版会社ともそれぞれ素晴らしい教科書として出来上がっており,優劣つけがたいものになっていると感じました。

その中でも,調査部会の中では,他の出版会社より「特別の教科 道徳」の学び方についてオリエンテーションで分かりやすく説明されている点,授業が展開しやすい点,児童が自主的に意欲的に学習できるような構成になっている点,学校現場の児童,指導者の意見等を総合的な視点でみると現在使用されている「日文」が優れているだろうといった意見がありました。

<会長>

ありがとうございました。ご質問などありましたらお願いします。

<委員>

道徳ノートについての是非を協議しましたが、現場の声はどういったものがありますか。

<道徳調査部長>

道徳ノートについては、調査部会でも話題になりました。現在使用している道徳ノートにつきましては、書くスペースが限られていたり、マスが切られているなどにより、自由度が狭いことや発問が限られてしまうなどの意見がありました。現場ではワークシートなどを使用している先生もいるとの意見がありましたが、今回その点などが改良され、自由記述に適した道徳ノートに変わっていることから使用することに問題はないだろうといった意見もありました。

<会長>

ありがとうございました。その他はいかがですか。よろしいでしょうか。

それでは、調査報告ありがとうございました。

道徳調査部長退室

<会長>

調査部会から8社について調査報告がありました。最終的には「日文」のご意見や道徳ノートについてもご意見をいただきました。その他なにかご意見などありますか。よろしいでしょうか。

<委員>

なし

<会長>

それでは、調査部会の報告にもございましたが、「日本文教出版」の教科書を採択するということによろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。それでは、採択理由書について協議をお願いします。

採択理由書(案)配付

<会長>

調査報告にもありましたが、7点についてまとめられておりますし、道徳ノートについても記載されております。こちらの採択理由書でよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。道徳については、「日本文教出版」の教科書を採択いたします。

調査報告書, 教科用図書見本本配布

特別支援調査部長入室

<会長>

それでは、特別支援部会の調査報告をお願いいたします。

<特別支援調査部長>

それでは、特別支援部会での調査内容についてご報告させていただきます。

まず、資料についてですが、別冊3は、2020年度使用小中学校特別支援学級知的障害者用教科用図書の採択に関する参考資料ということで、茨城県教育委員会から出されているものです。本調査はこの資料を基にして実施いたしました。

また、調査報告書として小学校用と中学校用に分け、それぞれA3版にまとめてありますので、そちらも併せてご覧ください。

では、具体的な説明に入らせていただきます。まず、別冊3の1頁をご覧ください。小・中学校等特別支援学級知的障害者用教科用図書の採択には「採択の原則」というものがございます。はじめに「採択の原則」の主な内容につきまして簡単にご説明させていただきます。

1番の(2)をご覧ください。学校教育法附則第9条の規定による教科用図書と書かれておりますが、その文の5行目に「毎年度異なる図書を選択することができる」と明記されております。このことにより、特別支援学級の教科用図書につきましては、毎年選定をし、採択していくということになります。その点につきましてまずはご確認をお願いいたします。

次に(3)をご覧ください。特別支援学級において使用する教科用図書は、市町村教育委員会において「種目ごとに複数採択することができる」と明記されています。種目とは国語・算数・理科・社会といった教科を指しており、教科ごとに複数採択が出来るように選定することもご理解いただければと思います。

さらに、(4)「文部科学省著作教科書を採択する場合は、次の事項を基本とすること」と明記されております。著作本といわれるもので、☆1つは、小学校1年生が使用するものです。☆2つは、小学校

2年生が使用するものです。☆3つは、小学校3年生から6年生まで使用するものとなっております。☆4つは、中学校1年生から3年生までが使用するものとなっております。

続きまして、採択上の留意事項についてご説明いたします。2頁(2)をご覧ください。採択地区においては、種目ごとに「教科書に関する基本型」に示す A 型(障害の程度が比較的軽い児童生徒の場合)及び B 型(障害の程度が比較的重い児童生徒の場合)を基本とし、教科用図書を選定することになります。

続いて(5)をご覧ください。「一般図書」とありますが、今ここにあるものが一般図書といわれているものです。これは書店で販売されているもので、図書館や学校の図書室にもおいてある書籍です。このような本の中から教科用図書となるものを使用することができるということになっておりますので、ここから選定していくことになります。ただし、この一般図書を採択する場合には、6つの規定がありますので、その6つの要件を満たしているものを選定していきます。

次に、4ページをご覧ください。表の左側の種目の右に「A」「B」とありますが、「A」は「A 型」といって障害の程度が比較的軽いお子さん、「B」は「B型」といって障害の程度が比較的重いお子さんに分かれております。

国語のところをご覧ください。「A」は検定と書かれていて1・2年生で矢印が引かれています。3年生は検下本といって1学年下の2年生の教科書を学習していきましょうという基本的な考え方があります。ただし、それよりも重いお子さんの場合は、☆本という絵や写真等が多く入っていて言葉(文字)が少なく、簡単な内容の教科書を選定しています。そのように、各教科によりA型B型のかたちが変わっておりますので、調査部会ではどのような教科用図書にするかを考えました。☆本については、国語と算数と音楽において☆本があり、それぞれの種目において、☆本での選定もできるようになっております。

中学校については6ページをご覧ください。こちらも種目ごとにA型B型に分かれております。このような形で小学校から中学校までの9年間の系統性を満たした基本の形が設定されておりますので、それに合わせて調査をしたということになります。

次にA3の資料をご覧ください。これは種目ごとのA型、B型において選定する際の観点や使用学年及び図書名、さらに内容に関する調査員の意見をまとめた資料となっております。昨年度選定したものを再度、選択の際の観点や児童生徒の障害の実態に合ったものであるかという点も十分に踏まえながら調査をして参りました。

一般図書に関しましては、在庫がなかったり絶版になったりして来年度供給が不可能となってしまうことがあります。令和元年度に使用しております、児童生徒の教科用図書が来年度もまだ使用できるかということを、全て出版社に問い合わせをして来年度も供給可能であるという確認をとらないと選択することができません。

そのような中で、小学校において、今年度新たに選定した図書について説明させていただきます。

まず、社会科で「みちかなかがくシリーズ」町の水族館 町の植物園 さかなやさんとやおやさんです。これまで使用していた一般図書が絶版となってしまうため、身近で産業にかかわるものに変更いたしました。

次に「フレーベル館の図鑑ナチュラ9 ひとのからだ」は、それまでのものの内容がやや難しいため、イラストが多く、表記が分かりやすいものに変更いたしました。

そして、新たに設けられた小学校外国語では、「ABCえほん」「和英えほん」「ことばのえほんABC」「えいごえほん ぞうさんがっこうにいく」を選定いたしました。

これらは障害の程度が比較的重い児童が、抵抗なく外国語に触れられるように選定しました。興味関心がもてるように絵本形式で楽しみながら英語に触れられる、視覚的にイラストが大きく、鮮やかでわかりやすい、発音が片仮名で表記されているので分かりやすい、身近な生活の中で耳にしている単語が多いので、児童の興味関心が高められるということです。

また、「ことばのえほんABC」「えいごえほん ぞうさんがっこうにいく」は中学校でも選定しており、小中学校でのスムーズな接続を意識しております。

つづきまして、中学校におきまして、今年度新たに選定した図書について説明させていただきます。

理科において「キッズペディア科学館」は、これまで使用していたものが絶版となってしまいましたのでその代わりとして選びました。この本は、身近な生活における疑問について、科学的にイラストや写真などを入れて分かりやすく解説されております。

また、簡単に試すことができる実験も掲載されており、生徒の興味・関心をもって学習を進めることができると考えられます。また、生徒の発達段階に即して活用しやすいという意見でした。

続きまして、「知的障害や自閉症の人たちのビジネスマナー集」は、大変良い本で、秋に改訂版が出される予定ですが、今のところタイトルも未定であるということで現行のものを記載しております。新しいタイトルが出ましたら事務局一任で変えていただくこととします。

「職業・家庭 たのしい家庭科わたしのくらしに生かす」は、日常から社会における生活に必要な一般常識やマナーについて、イラストや写真をふんだんに用いて、分かりやすくまとめられています。そして、現在から将来まで活用できる幅広い内容で構成されています。

以上のように、一般図書におきましては可能な限り、複数の教科用図書を選定したということと、在庫がなかったり絶版になったりして来年度、供給できるように出版社に問い合わせをして、供給可能である事を確認して選定をいたしました。

以上で、簡単ではありますが、特別支援調査部会の結果についての報告を終了させていただきます。

<会長>

ありがとうございました。ただいま、特別支援教育についての調査報告をしていただきました。何かご質問がありましたらお願いします。

<委員>

採択後に絶版になる可能性はありますか。

<特別支援調査部長>

事務局にて各出版社に供給可能かどうか確認をしていただいております。

<会長>

その他ありますか。よろしいでしょうか。

それでは、調査活動ありがとうございました。

特別支援調査部長退室

<会長>

ただいま、調査報告をしていただきましたが、ご意見はございますか。

<委員>

なし

調査報告の中にありました、「知的障害や自閉症の人たちのビジネスマナー集」のタイトル変更については事務局一任において変更でよろしいかどうか、また、調査報告のと通りの図書を採択ということによろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。それでは、採択理由書について協議をお願いします。

採択理由書(案)配付

<会長>

趣旨的には、児童生徒の実態に合った教科用図書をできるだけ採択したいといった枠を広げた対応が基本になっております。そのことにより、A型B型といった対応もとることができます。調査部長からの報告にありましたが、一般図書については、より活動を広げる意味で多くの選択肢を設けております。

以上の採択理由書の内容でよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

ありがとうございます。

予定した調査部会の報告は以上になります。ご協力ありがとうございました。

続いて、採択結果及び理由等の公表について審議いたします。事務局より説明をお願いします。

<事務局>

公表については、平成27年度に規約が改正されましたので、その方式で公表をしております。

資料の規約の第5章をご覧ください。情報開示については、14条の通りでございます。公表に関しては、15条に述べられているように、当該教科用図書の種類、当該教科用図書を採択した理由、第12条の第2項の資料、協議会の会議の議事録こちらが公表となります。

この公表については、当該教科用図書の種類、当該教科用図書を採択した理由、こちらは各教育委員会に送付してWEB上にアップ、報告書及び議事録については、事務局である大洗町教育委員会でアップするというを行います。そのようなことで、よろしいかどうかご審議いただきたいと思っております。

<会長>

事務局から説明がありましたが、教科用図書の種類については、各教育委員会でアップをしていただきます。そして、資料、協議会の議事録については、事務局である大洗町でアップいたします。そのようなことでよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

<会長>

それでは、第4採択地区の公表は、そのようにいたします。

以上で全ての審議を終了いたします。その他、何かありますでしょうか。

それでは、以上で議事を終了いたします。ご協力ありがとうございました。

<事務局>

飯島会長ありがとうございました。

それでは、事務局より要項にございます今後の予定について説明いたします。

各市町の教育長様には、本日の結果を、各市町教育委員会へ御報告をお願いいたします。今回採択されました教科用図書一覧表の電子データを、作成後に各市町の事務局様に電子メールで送信いたします。

議決内容につきましては、7月26日金曜日までに、各市町教育委員会から議決をいただきますようお願い申し上げます。なお、議決が済みましたら、採択教科用図書一覧表を事務担当者にお渡しいただき

たいと存じます。

各市町の議決の報告でございますが、同じく26日金曜日までに、文書で報告願います。なお、文書による報告が遅れる場合は、大洗町教育委員会学校教育課宛に、議決した旨、FAXにて連絡をいただければ幸いに存じます。

最後に本日の資料ですが、教育長様がお持ちの資料は、各市町教育委員会保管用として下さい。
その他の委員の資料は、お帰りの際に事務局までご提出願います。

それでは、「閉会のことば」を 本選定協議会副会長 笠間市教育委員会教育長 今泉 寛 様お願いいたします。

開会のことば 副会長 笠間市教育委員会教育長 今泉 寛 様

閉会時間 午後2時45分